

平成 19 年の気象概況

(1 月)

冬型の気圧配置は長続きせず、天気は周期的に変化しました。気温は、上旬の後半と中旬の中頃に一時平年より低くなりましたが、その他の日は高く、特に中旬の後半からは高くなりました。

月平均気温は岐阜でかなり高く、高山では高く、降水量は岐阜、高山共平年並、日照時間は岐阜で平年並、高山で多くなりました。

【上旬】前半は晴れた日が多くなりましたが、後半は冬型の気圧配置の日が多くなりました。

6日は、低気圧が発達しながら本州南岸と日本海を進み、平野部では雨、山間部では雪や雨が降りました。7日は冬型の気圧配置が強まって広い範囲で雪が降りました。8日は平野部では時々雨、山間部では雪が降りましたが、飛騨北部では9日昼頃まで雪が降りました。各地の最深積雪は、7日に樽見 28 cm、岐阜 10 cm、関ヶ原 4 cm、8日に神岡 48 cm、高山 47 cm、長滝 41 cm、9日に白川 82 cm、河合 70 cmとなりました。

【中旬】半ば頃までは冬型の気圧配置が続き、山間部では曇りで時々雪や雨が降りましたが、その後は、短い周期で天気は変化しました。

【下旬】気圧の谷の通過で、天気は周期的に変化しました。旬の平均気温は、平年より 3 前後高くなりました。

(2 月)

冬型の気圧配置は一時的で、天気は周期的に変化しました。気温は、上旬の初め頃と中旬に一時平年より低くなった他は高く経過しました。

月平均気温は岐阜、高山共かなり高く、降水量は岐阜、高山共平年並、日照時間は岐阜でかなり多く、高山で多くなりました。

【上旬】初め頃は冬型の気圧配置となり、飛騨北部、中濃山間部では雪が降りましたが、その後は晴れた日が多くなりました。

【中旬】14日と17日夜から18日にかけては、低気圧の通過でまとまった雨が降りました。特に14日は御母衣で133mmの大雨となった他、全般に20~80mmの雨が降りました。

【下旬】天気は短い周期で変化しました。

(3 月)

上旬の後半から中旬にかけて冬型の気圧配置が続き飛騨北部や中濃山間部を中心に雪の日が多くなりました。下旬は天気は周期的に変化しました。気温は、上旬後半から

中旬にかけて平年より低くなりましたが、上旬の前半と下旬は高く経過しました。

月平均気温は岐阜で高く、高山で平年並み、降水量は岐阜で平年並、高山で少なく、日照時間は岐阜、高山共に平年並みとなりました。

【上旬】前半は高気圧に覆われ晴れましたが、後半は強い冬型の気圧配置となって、飛騨北部や中濃山間部を中心に雪の日が多くなりました。

【中旬】中頃を除き冬型の気圧配置の日が続き、平野部では晴れた日が多くなりましたが、飛騨北部では雪の日が多くなりました。

【下旬】天気は周期的に変化しました。

(4 月)

天気は概ね周期的に変化しましたが、下旬の前半は低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は岐阜で平年並、高山で低く、月降水量は岐阜、高山共に(かなり)少なく、月日照時間は岐阜で多く、高山で少なくなりました。

【上旬】1日と2日は前線の影響で、7日には気圧の谷の影響で雨が降りました。4日は強い寒気が通過し、山間部で一時雨や雪が降りました。その他の日は高気圧に覆われ概ね晴れました。

【中旬】天気は周期的に変化しました。

【下旬】前半は、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、後半は高気圧に覆われ、概ね晴れました。

(5 月)

高気圧に覆われ晴れた日が多くなりました。25日は前線を伴った低気圧が本州付近を通過したため、日降水量がひるがの134ミリ、長滝で111ミリなど、まとまった雨となりました。

月平均気温は岐阜、高山共に高く、月降水量は岐阜で少なく、高山で平年並、月間日照時間は岐阜で(かなり)多く、高山で多くなりました。

【上旬】天気は周期的に変化しました。

【中旬】旬の前半は高気圧に覆われ晴れた日が多くなりましたが、後半は低気圧の影響により曇りや雨の日が多くなりました。

【下旬】高気圧に覆われ晴れた日が多くなりましたが、25日と29日から31日にかけては低気圧や気圧の谷の影響で曇りや雨の日となりました。

(6 月)

月の中頃までは晴れの日が多くなりましたが、中頃以降は低気圧や梅雨前線の影響で、曇りや雨の日が多くなりました。

月平均気温は岐阜で平年より高く、高山は平年並、月降水量は岐阜、高山共に平年並、月間日照時間は岐阜で平年より多く、高山で平年並となりました。

【上旬】旬の前半は高気圧に覆われ概ね晴れました。後半は、上空に寒気を伴った気圧の谷の影響で曇りとなり、雷を伴い一時雨の降った所もありました。

【中旬】旬の始めは晴れましたが、中頃以降は梅雨前線や南からの湿った空気の影響で、曇りや雨の日が多くなりました。

【下旬】低気圧や梅雨前線の影響で、曇りや雨の日が多くなりました。

(7月)

下旬の中頃までは、梅雨前線や台風の影響で曇りや雨の日が多くなりました。その後は高気圧に覆われ概ね晴れました。

14日14時頃、鹿児島県の大隅半島に上陸した台風第4号は、その後日向灘へ抜け、15日には四国沖から本州沿岸を東北東に進み、東海地方に接近しました。台風の接近に伴い14日19時の1時間降水量は、アメダス観測点の関市板取で30ミリの激しい雨が、樽見で28ミリ、揖斐川で27ミリ、大垣で27ミリの強い雨が降りました。

月平均気温は岐阜、高山共に平年より低く、月降水量は岐阜で平年より多く、高山で平年並、月間日照時間は岐阜、高山共に平年より少なくなりました。

【上旬】梅雨前線の影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

【中旬】梅雨前線や台風の影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

【下旬】旬の中頃までは梅雨前線の影響により、曇りや雨の日が多くなりました。旬の後半は高気圧に覆われ概ね晴れました。

(8月)

月の始め頃は台風第5号の影響で、終わり頃は湿った空気の流れ込みや前線の影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

月の中頃を中心に晴れて暑い日が続き、岐阜では8月16日に1883年の統計開始以来1位となる39.8度の日最高気温を観測しました。アメダス観測点では8月16日に多治見で40.9度、美濃で40.0度を観測し、統計開始以来1位となる日最高気温を観測しました。この他、八幡、金山、揖斐川、中津川、宮地、恵那、黒川、白川の8観測点で統計開始以来の1位となる日最高気温を観測しました。(注：白川は8月11日に観測。)

なお、8月16日に多治見と熊谷(埼玉県)で観測された40.9度は、1933(昭和8)年7月25日に山形(山形県)で観測された40.8度の国内最高気温の記録を更新しました。

月平均気温は岐阜、高山共に平年よりかなり高く、月降水量は岐阜で平年より少なく、高山で平年並、月間日照時間は岐阜、高山共に平年より多くなりました。

【上旬】台風第5号の影響で、2日から4日にかけて曇りや雨の日となりました。そ

他の日は、高気圧に覆われ概ね晴れました。

【中旬】高気圧に覆われ概ね晴れで暑い日が多くなりました。また、南からの湿った空気や上空に寒気を伴った気圧の谷により、大気の状態が不安定となり、雨や雷雨となった所もありました。

【下旬】旬の前半と後半は湿った空気の流れ込みや前線の影響により、曇りや雨の日が多くなりました。中頃は高気圧に覆われ概ね晴れました。

(9 月)

台風、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなりましたが、中旬から下旬にかけては高気圧に覆われ晴れた日もありました。

8月に引き続き9月も日平均気温が平年より高い日が続き、岐阜県内で気温を観測している23地点(気象官署、特別地域気象観測所、アメダス観測所)の内、21地点で9月の「月平均気温の高い方から」の極値を更新しました。

平均気温は岐阜、高山共に平年よりかなり高く、降水量は岐阜で平年並、高山で平年より少なくなりました。

【上旬】台風第9号、前線や気圧の谷の影響により、曇りや雨の日が多くなりました。

9日は、南から暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となったため、岐阜で21時06分までの1時間に48.0ミリの激しい雨が降り、22時00分までの3時間で101.0ミリの降水量となりました。

【中旬】旬の始め頃と終わり頃は高気圧に覆われ晴れた日がありました。旬の中頃を中心に低気圧や前線、南からの湿った空気の流れ込みにより、曇りや雨の日が多くなりました。

【下旬】旬の始め頃と中頃は高気圧に覆われ晴れましたが、その他の日は前線や気圧の谷の影響により、曇りや雨の日となりました。

23日は、上空に寒気を伴った気圧の谷が通過し、南から湿った空気が流れ込んだため、大気の状態が不安定となり、アメダス観測点の伽藍で19時30分までの1時間に99ミリの猛烈な雨が降りました。

(10 月)

高気圧に覆われ晴れた日が多くなりました。

月平均気温は岐阜、高山共に高く、月降水量は、岐阜、高山共に平年並となりました。

【上旬】旬の始め頃と終わり頃は前線や気圧の谷の影響で、曇りや雨の日が多くなりました。旬の中頃は高気圧に覆われ概ね晴れました。

【中旬】旬の始めと終わり頃は、低気圧や前線の影響で曇りや雨の日となりましたが、その他の日は、高気圧に覆われ概ね晴れとなりました。

【下旬】高気圧に覆われ晴れた日が多くなりました。旬の中頃の26日から27日にか

けては低気圧、前線や台風の影響により雨となりました。

(11月)

月の初めは天気が周期的に変化しました。中旬以降は高気圧に覆われ晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多くなり、山間部では雪が降った所もありました。

月平均気温は岐阜、高山共に平年並で、月降水量は、岐阜でかなり少なく、高山は平年並となりました。

岐阜の11月の月降水量は20.5ミリで、11月の「月降水量の少ない方から」の3位となりました。1位は、1988(平成10)年11月の10.0ミリ、2位は1953(昭和28)年11月の18.4ミリで、従来の3位は1947(昭和22)年11月の20.5ミリでした。

【上旬】天気は、周期的に変化しました。

【中旬】高気圧に覆われ、晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で、曇りや雨の日が多くなりました。

19日は、岐阜で初霜を観測しました。平年(11月16日)より3日遅く、昨年(12月3日)より14日早い観測となりました。

【下旬】旬の初めは冬型の気圧配置となり、平野部は概ね晴れまたは曇りとなりましたが、山間部では雨や雪が降りました。中頃は高気圧に覆われ概ね晴れましたが、後半は低気圧や気圧の谷の影響で概ね曇りとなりました。

(12月)

高気圧に覆われ晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や低気圧の影響で変わりやすい天気の日が多くなりました。

月平均気温は岐阜、高山共に高く、月降水量は岐阜、高山共に多くなりました。

【上旬】旬の中頃と終わり頃は、高気圧に覆われ概ね晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や気圧の谷の影響で、変わりやすい天気の日が多くなりました。10日は、岐阜で初氷を観測しました。平年(11月29日)より11日遅く、昨年(12月19日)より9日早い観測となりました。

【中旬】冬型の気圧配置や低気圧の影響により、変わりやすい天気の日が多くなりました。

【下旬】旬の中頃は、高気圧に覆われ晴れた日もありましたが、冬型の気圧配置や低気圧の影響で、変わりやすい天気の日が多くなりました。30日は、岐阜で初雪を観測しました。平年(12月11日)より19日遅く、昨年(12月28日)より2日遅い観測となりました。